

もう止めよう千ボリ公園への税金投入

知事の責任で閉園・法的整理を

石井知事は、千ボリ公園事業への支援を2008年末で中止する意向を示しました。ところが、千ボリ・ジャパン社取締役会で事業継続に固執する意見が出され、結論が先送りされています。

しかし、クラブウとの土地賃貸契約しているのは岡山県で、その一部をクラブウの了解の下に、千ボリ・ジャパン社が借りています。知事の方針が事業の存否を決めるのです。

事業中止の場合18ヶ月分の地代(9億円)及び更地無償返還(必要経費約13億円)が必要で、県と千社とが11億円ずつ負担することになります。事業中止が延びれば月額5000万円が余分に必要になります。

日本共産党は、知事の責任で一日も早く閉園すること、そして速やかに千ボリ・ジャパン社の法的整理を進めることを求めています。

倉敷市の融資をキツパリ止めよ

倉敷市は、千ボリ・ジャパン社に15億円出資とともに、単年度融資を繰り返してきました。

日本共産党は出資に反対するとともに、毎年度融資に際して問題点を指摘して反対してきました。融資を社債購入など目的外使用していると指摘し中止を求めました。08年度24億円融資に際しては、千ボリ・ジャパン社の法的整理が予測される時、何の保証もない融資は中止すべきだと主張し、予算に反対しました。

3月31日市議会総務委員会で市当局は、低利子融資が定期預金利子より高く逆ザヤとなる等の理由を上げ、融資を当面凍結する方針を示し、了承されました。

土地返還後、市民の声でまちづくりを

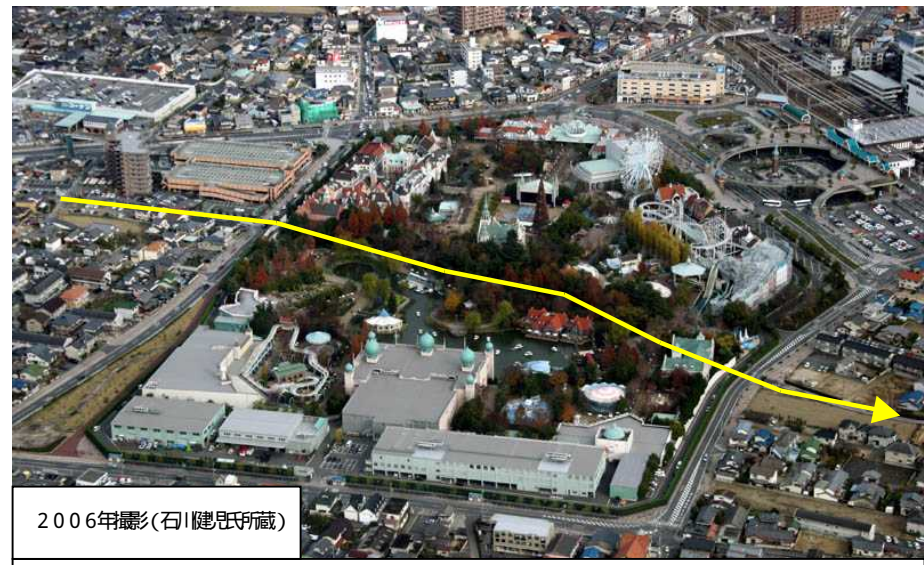
市長選挙に係わって「公園部分を残せ」という運動が展開されています。その際税金投入するのでしょうか。千ボリへの税金投入はもうやめよう、が市民の圧倒的な意見です。

土地が返還された場合、クラブウがどう利用するのが、注目されています。本町倉紡跡地は、アイビースクエア及び倉紡記念館となり、文化観光拠点として倉敷市民に貢献

しています。このクラブウ(千ボリ)跡地利用についても、市民への貢献を求める声が上がっています。

その際、敷地中央を南北に流れる幅8mの倉敷用水・側道は、クラブウ工場と千ボリ公園に取り込まれてきましたが、本来、市民が自由通行できるようにすべきです。

日本共産党はこうした市民の声をもとにまちづくりを進めます。



2006年撮影(石川健児所蔵)

写真左上から右下へ千ボリ公園を流れる倉敷用水沿いに木々が繁っていますが、クラブウにあった木々が移植されたものです。「原状回復して土地返還」すれば、当然緑は残ることになります。その際、倉敷用水・側道は市の所有であり、囲い込みを止めて自由通行にすべきです。